

福岡県居合道連盟

第048号 平成22年7月1日発行
発行 (社)福岡県剣道連盟居合部
<http://iai.riai.info/>
発行人 迫野 康雄
〒807-0842 北九州市八幡西区永犬丸東町3-16-13
Tel:093-612-1512
編集人 上田 武尚
〒800-0201 北九州市小倉南区上吉田2-2-16
Tel:093-473-7323

はじめに

6月27日(日)梅雨前線が福岡の上空に停滞し大雨の中、粕屋ドームにて第43回福岡県居合道大会が盛大に開催された。年一回の県大会で昨年より全日本大会の選手選考会も兼ねる大会で、当然選手は熱の入る白熱した試合展開であった。

大会に出場することは、普段の稽古の何倍もの上達につながる。大会に出場するには心構えから、稽古に取り組む姿勢、対戦相手のこと、勝敗、会場の雰囲気、仲間の応援、観衆の目等々、試合ごとに色々な事を思い巡らせながら演武すると思う。

終わってみれば喜びあり、悔しさあり、悲しさありと悲喜こもごもの緊張感を味わう。この気持ちを大切にしたい。ああ終わったではなく、次につながる稽古はどうしたらよいかを考え、またわからなければ先生に教えを受けながら創意工夫した稽古を行ない、次回は一步でも前に進むことが試合出場の大きな意義である。つぎの目標を掲げてさらに稽古に取り組んでください。

県代表になられた選手諸君はこれから更に稽古に磨きをかけ福岡県の名譽を担い頑張ってください。

人手不足で試合をしながらの大会運営、本当にお疲れ様でございました。盛會に無事終了し有難うございました。

主な出来事

6/27 第43回福岡県居合道大会/級審査会 粕屋総合体育館

大会参加者 約180名

午前9時30分 受付開始 午前10時00分 大会開始

四会場に別れ少年の部、無段の部、初段の部、二段の部から試合進行、随時三段の部、四段の部、五段の部、六段の部の準決勝まで進行され、決勝戦は各段一斉に実行された。六段までの試合が終了後、七段戦が二会場に別れ実行され最後決勝戦で試合の取りを飾った。

尚、本結果より第45回全日本居合道大会出場選手候補は以下の通りとなった。

監督は、新八段となった堀江征男先生を決定した。

選手	七段の部	馬場清治選手(飯塚同)	補欠候補	國方孝之選手(鍊心館)
	六段の部	世利真吾選手(粕屋同)	補欠候補	吉野龍雄選手(千代剣)
	五段の部	徳永靖子選手(北九同)	補欠候補	廣房憲治選手(鍊心館)

第 43 回福岡県居合道大会結果

	優勝	二位	三位	三位
少年の部	友納 有紀 (錬心館)	松尾 加奈子 (八女同)	井上 千大 (田川同)	梅本 大輝 (千代剣)
無段の部	河村 拓 (錬心館)	石井 祥清 (錬心館)	谷岡 英彦 (田川同)	井上 正太 (北九同)
初段の部	高井 正敏 (桜居会)	永島 謙宗 (小倉剣)	鶴藺 真一郎 (北九同)	安本 誠一 (千代剣)
二段の部	村上 佳隆 (正修館)	古賀 重治 (明德館)	アルノ・マカドレ (錬心館)	磯野 美紗緒 (明德館)
三段の部	佐伯 伊勢雄 (福岡武)	坂本 光爵 (千代剣)	大村 洋祐 (飯塚同)	江里口 忠士 (小倉剣)
四段の部	荒木 正亨 (福岡武)	岡野 信之 (錬心館)	梅本 智大 (千代剣)	金城 和枝 (倫武会)
五段の部	徳永 靖子 (北九同)	廣房 憲治 (錬心館)	金子 良太 (北九同)	佐藤 清 (行橋武)
六段の部	世利 慎吾 (粕屋同)	吉野 龍雄 (千代剣)	東 昌秀 (無心館)	古館 博 (千代剣)
七段の部	馬場 清治 (飯塚同)	國方 孝之 (錬心館)	和泉 修二 (正修館)	小川内 泰生 (八女同)

級審査会 5 級受審者 1 名 1 級受審者 5 名 **全員合格**



7・8月の予定

7/9	居合道段位審査会 (6段7段)	兵庫県姫路市
7/10	居合道地区講習会	兵庫県姫路市
7/11	居合道地区講習会	兵庫県姫路市
8/8	福岡県居合道審査会 (級、初~5段)	福岡武道館

末次留蔵先生 36 回忌追悼稽古会

6 月 15 日武揚館にて開催され、迫野先生他数名の先生方が出席され居合を演武された。